

2013. 7  
通巻 第123号

# えひめ 社労士会だより

C e r t i f i e d   S o c i a l   I n s u r a n c e   L a b o r   C o n s u l t a n t



宇和海海中公園

contents

- 平成 25 年度通常総会 1
- 平成 24 年度事業報告 7
- 平成 25 年度事業計画 11
- 理事会だより 14
- 新入会員紹介 17
- 社会保険労務士倫理綱領 19



愛媛県社会保険労務士会

## 平成25年度 愛媛県社会保険労務士会通常総会

平成25年度愛媛県社会保険労務士会通常総会が6月12日午後2時より松山全日空ホテルにて開催された。

愛媛県社会保険労務士会副会長三木茂の開会宣言を受け、愛媛県社会保険労務士会会長土居修二が挨拶し、愛媛県知事代理副知事長谷川淳二氏をはじめとする来賓の方々より祝辞を賜った。

議長には佐伯広政、副議長に宮谷しのぶが選任され、次いで書記の任命と議事録署名人の選任、また、議事運営委員の選出等についての報告がなされた。

続いて議事に入り、提出議案について質疑応答がなされ、慎重に審議した結果、第1号議案から第5号議案についてすべて原案通り承認された。

- 議事 第1号議案 平成24年度事業報告承認の件  
 第2号議案 平成24年度決算報告承認の件（監査報告）  
 第3号議案 平成25年度事業計画案審議に関する件  
 第4号議案 平成25年度収入支出予算案審議に関する件  
 第5号議案 役員改選に関する件

来賓ご芳名（順不同・敬称略）

愛媛県	副 知 事	長谷川 淳二
〃 経済労働部管理局	労政雇用課長	菱谷 文彦
四国厚生支局	支 局 長	須田 康幸
〃	年金管理課長	河野 正光
愛媛労働局	局 長	田中 敏章
〃 労働基準部	部 長	半田 和義
〃 職業安定部	部 長	浮地 和宏
〃 労働基準部	監 督 課 長	真鍋 俊正
日本年金機構四国ブロック本部	管 理 部 長	今泉 礼三
〃 松山西年金事務所	所 長	渡部 光則
全国社会保険労務士会連合会	常 務 理 事	澤江 慎一
愛媛県司法書士会	会 長	長野 裕
愛媛県行政書士会	会 長	矢野 浩司
四国税理士会愛媛県支部連合会	副 会 長	徳井 廣志
愛媛弁護士会	副 会 長	吉村 紀行
愛媛県土地家屋調査士会	副 会 長	岡田 直人
公益社団法人愛媛県不動産鑑定士協会	会 長	亀田 武志
社団法人愛媛労働基準協会	専 務 理 事	佐伯 裕之
一般社団法人全国労働保険事務組合連合会愛媛支部	事 務 局 長	井上 順三
株式会社ゆうちょ銀行四国エリア本部	営 業 企 画 部 長	松本 和典
〃	担 当 課 長	戸崎 駿輔
日本司法支援センター愛媛地方事務所（法テラス愛媛）	副 所 長	今井 正章

衆議院議員 塩崎 恭久  
 衆議院議員 白石 徹  
 参議院議員 山本 順三

衆議院議員 村上誠一郎  
 衆議院議員 山本 公一  
 参議院議員 山本 博司





## 会 長 ご 挨拶

愛媛県社会保険労務士会  
会 長 横 本 恭 弘

この度、平成25年6月12日の通常総会におきまして、皆様のご信任をいただき、愛媛会の会長に就任させていただきました。

本年は昭和43年に社会保険労務士法が制定・施行されて45周年を迎える記念すべき年です。国内の情勢は、アベノミクス効果で景気浮揚への期待が高まるなど、明るい兆候が見られつつあります。

一方で、完全失業率は4.1%と高止まりの状況が続き、非正規雇用も3分の1を超え、特に若年層を中心に好転の兆候がみられず、雇用環境は引き続き厳しい状況が予想されることから労働・年金等社会保障制度において国民のセーフティーネットを支える社会保険労務士に対する期待は大きなものとなっています。

そのために、地域からアテにされる社会保険労務士、社会保険労務士会となれるよう、会長として「演奏者ではなく指揮者であれ」を念頭において会運営に取り組みたいと思います。「演奏者ではなく指揮者であれ」とは、フルオーケストラは、最大100人ぐらいの規模で素晴らしいシンフォニーを演奏し、大ホールの観衆をも感動させます。フルオーケストラの中には幾つかの楽器がありますが、大きく分けると弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器という構成です。指揮者がいくら有能であっても、おれが弾いてやるから見ていろと指揮台から降りて弾いていたのでは、一つの音色しか出ません。「地域からアテにされる社会保険労務士、社会保険労務士会」になろうと思えば、指揮台の上に上がり、全ての演奏者に一つの指揮棒を見詰めてもらわなくてはなりません。会長として自ら行うのではなく、副会長はじめ役員の皆様には任せられることはどんどん任せていきたいと思っています。しかし、任せるということは、責任の放棄ではありません。指揮者としてのミッション「地域からアテにされる社会保険労務士会の創造のコーディネイト役」をしっかりと全うする所存です。

また、今年は45周年を迎える年ですがこれから50周年、100周年に向けてスタートを切る年でもあります。これから先の社会保険労務士としての存在意義や基本的な考え方を明らかにし、愛媛会は会員の皆様と力を合わせてどのような目標を達成しようとしているのかという、まずは、50周年に向けてのビジョンを打ち立て、着手したいと思います。

ビジョンに着手するとは、予め定めた納期において完成する予定図を、詳細に描いてから着工することをいいます。そのために、今まで愛媛会をリードしてきていただいた先輩諸氏の志を受け継ぎ、「不易流行」という言葉ではありませんが、時代の流れに合わせて、思い切って変えていいことと、変えてはいけないものがあるということを忘れずに会長の職責を果たしていきたいと考えています。

これからの2年間の任期を会員の皆様とともに走り続けますので、何卒、ご支援とご協力をお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。





## 副会長就任のご挨拶

副会長（事業委員長、社労士会労働紛争解決センター愛媛センター長） 成 川 献 次

全国社会保険労務士会連合会では平成25年度の国会において第8次社労士法改正の実現を目指しております。主な内容としましては、①個別労働紛争について簡易裁判所における民事調停の代理権の獲得、②裁判所において弁護士の補佐人としての出廷陳述権の獲得、③社労士会労働紛争解決センターにおける60万円枠の撤廃等であります。愛媛県社会保険労務士会におきましても、総合労働相談所との連携を一層強化し、社労士会労働紛争解決センター愛媛の利用促進を図って実績を積み上げるとともに、政治連盟、連合会との連携を密にし、第8次社労士法改正の実現に向けて最優先で取り組んでまいります。

労働条件審査につきまして、昨年度愛媛県庁に指定管理者や入札参加企業に対する労働条件審査を導入するよう提案しているところですが、今年度は一歩踏み込んだ提案をしていく予定です。

厚生労働省等が行う「中小企業相談支援事業」「労働保険年度更新業務」「年金事務所での年金相談」「街角の年金相談センター松山（オフィス）」等の諸施策、また「ゆうちょ銀行年金相談事業」等の事業について積極的に協力してまいります。

社労士制度の一層の周知を図るため、社会保険労務士制度推進月間（10月）に無料相談会を開催する他、本年は社労士法施行45周年にあたるため、45周年記念事業として講演会等を行うこととしております。また、若い世代に社会保障制度を理解してもらうことを目的として、高等学校での出前授業等を継続して開催してまいります。

様々の事業につきまして、会員の皆様のご協力を頂きながら進めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



## 就任のご挨拶

副会長 東予支部長 加 藤 久 雄

このたび平成25年6月12日全日空ホテル松山で開催されました通常総会で、二期四年間務めてくださった土居前会長が退任され、新たに横本新会長が愛媛県社会保険労務士会の会長職に選任され、組織体制の変更に伴い、副会長という大役を仰せつかることとなりました東予支部所属の加藤久雄です。また、併せて横本会長より指名されて前期に引き続き東予支部長も兼任することとなり重責を痛感いたしております。

前期、東予支部長として副支部長、幹事の方々と協議し、東予支部会員の方々が満足していただけるような事業運営に全力を尽くしてまいりましたが、充分であったかどうか、反省材料がたくさんありますので、今期は、東予支部役員の方々と協議を重ね、前期の反省材料をふまえて、東予支部会員の皆様方との連絡や意見交換などを密にしてどのようにすれば東予支部会員の皆様方のお役にたてるのか検討することにより、社会保険労務士としての職務遂行などに有益な研修会などの事業を実施していくことにより、県会の運営にも役立てたいと思います。また、東予支部会員の皆様方には、各種行政協力、相談員や講師などの要請にも快くご協力くださいますようお願いいたします。

また、愛媛県社会保険労務士会の運営につきましては、副会長として微力ながら横本会長をサポートし、理事の皆様方と報告、連絡、相談を密に行い、総会でご承認いただきました「平成25年度事業計画」に沿って各種事業の実現に向けて愛媛県社会保険労務士会会員各位の貴重なご意見をお聞きしながら、また、ご協力を得ながら実現に向けて努力してまいりたいと思います。

最後になりますが、今後とも愛媛県社会保険労務士会会員各位の温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申しあげまして就任のご挨拶とさせていただきます。



## 就任にあたって

副会長・総務委員長 岡部 五郎

いつの間に追い越したのだろう……。監督署や職安、年金事務所に行くと、役職の方でも私よりも年齢が若くなっていたのです。  
ふとそんなことを感じていました。

還暦を迎え、今回長年の理事も退任と思っていたところ、会長指名により副会長と総務委員長を仰せつかりました南予支部の岡部です。

早いもので開業して20年目になり、若手の方々と世代交代の次期かと思いますが、もう少し「勉強しろ」との天の声と自分に言い聞かせ、この2年間頑張ろうと思います。

総務委員会としては、現在、地域により会員数の大幅な増減のため理事定数問題が生じていますので、会則等の変更を提案していかなければならないと思っています。皆様のご意見を伺いながら検討をしていきます。また、「既存委員会に属さないものは何でも総務」などと役割が多く回ってきているようですので、皆様のご意見を拝聴しながら少しでもお役に立ちたいと思っています。

横本会長から指名頂いた副会長としての役割は、東、中、南予の地域バランスを考えてのことだと思っています。会長のサポートが出来ますよう努力していきたいと考えています。皆様のご支援、ご協力をお願い致します。



## 就任のご挨拶

常任理事・財務委員長 竹内 明久

前期に引き続き、財務委員長を仰せつかりました中予支部所属の竹内です。前期には、予期せぬ税務調査があり、税務署の見解にほとんど従わざるを得ないという苦い経験を致しました。収益目的の事業はしていないので、徴税の対象にはならないという変な安心感があったことは否定できません。なんとか税金を支払うことはできましたが、行政協力業務や支援事業等が減少傾向にあるため、会の財政を考える上で、税金問題は大きな割合を占めることになりそうです。

予算書、決算書につきましては、少しづつ理想のものに近づきつつあると思っています。近藤事務局長が、前職で会計業務に携っておられ、予算書、決算書作成に多大な貢献をしていただきました。今後も事務局および事務局長と協力して、より良い予算書、決算書を作成すべく努力したいと思います。皆様のご支援、御協力のほど、よろしくお願い致します。



## 就任のご挨拶

常任理事・研修委員長 藤田 拓也

このたび、研修委員長に就任しました藤田拓也と申します。

私は今回初めて委員長という大役を仰せつかり、何処までのことができるのか不安も多いのですが、新役員には、経験豊富な先生方が沢山おられますので、ご指導いただき、また、研修委員のメンバーの皆様にご協力いただきながら、微力ではありますが、会員の皆様のお役に立てるよう精一杯努めてまいりたいと思います。

企業にとって、雇用や保険、労働環境などの業務を処理する社労士の存在は不可欠であり、国と生活保障を求める国民の「かけ橋」であり、会社と従業員の「かけ橋」として活躍しているのが私たちの仕事でもあります。

社労士にとって1号、2号業務を行うことはとても重要な業務ですし、労使間のさまざまな体制づくりや規則づくりの相談や指導業務、紛争解決を行うことも大切な役割です。「労働社会保険制度」を熟知して、常に労使の間がより良い関係を構築していけるようにすることが私たち社労士の発展にも繋がると考えております。

研修委員会では、社労士として活躍する会員の皆様の質の向上のため、必修研修、安全衛生研修、倫理研修、新人研修、実務研修など、会員の皆様が常に前向きに、多数ご参加いただける研修の場を設けていければと思っております。

最初は試行錯誤で開始して参りますので、皆様にはご迷惑をお掛けすることもあるかもしれませんが、何卒、ご協力、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



## 委員長就任のご挨拶

常任理事・業務監察・広報委員長 尾崎 和幸

このたび会長より業務監察・広報委員長に委嘱されました尾崎和幸です。業務監察・広報委員会は前期に新しくできたばかりの常設委員会ですが、社労士の業務侵害の監察と社労士制度の広報の活動を進める重要な委員会の一つです。今まで県内の関係機関への業務違反防止のお願い文書の配布やマスコミへの積極的な広報活動、連合会との法律的な対処についての連携等を行ってきました。いろいろと試行錯誤はありましたが、前委員長他の尽力で少しずつですが委員会としての存在感は出てきたと思っています。

今期は委員長として重責を担うことになりましたが、前期の路線を受け継ぎながら、活発な広報は業務侵害の抑制となるアドバルーンとなり得るものとして考え、広報を中心とした委員会活動を積極的に推進していくことによって、社労士の地位向上確保や県会の活性化を生みだし、ひいては会員の皆さんの豊かな生活に繋がるものになるようにしていきたいと思っています。

業務監察・広報委員会の活動には会員の方のご協力とご理解が必要不可欠です。皆さん会員各位からの業務侵害情報や意見・アイデア等をお待ちしています。また、名札着用による他者との差別化もご協力ください。どうか今後とも一層のご支援ご協力をよろしくお願い致します。

なお、役員の選任については、中予支部では前々回から役員候補者として自ら立候補できる要綱を定めて実施してきましたが、これからもより多くの皆さんが県会と会員の発展のために積極的に県会の運営に参加されることを期待しています。





## 中予支部長就任のご挨拶

常任理事・中予支部 薦 田 勉

この度、中予支部長を拝命いたしました薦田勉です。中予支部長という大役に身が引き締まる思いで一杯ではありますが、皆さまのお役に立てるよう努力する所存ですのでよろしくお願いいたします。

さて、ここ数年間の会員数の推移を確認してみますと、県会における中予支部の比重がますます大きくなっていることがわかります。具体的には、平成15年7月1日現在では会員総数259名中、中予支部144名（55.6%）、東予支部86名（33.2%）、南予支部29名（11.2%）であったものが、平成20年7月1日にはそれぞれ311名、181名（58.2%）、100名（32.2%）、30名（9.6%）、平成22年7月1日にはそれぞれ324名、193名（59.6%）、100名（30.7%）、31名（9.6%）、そして直近の平成25年7月1日にはそれぞれ337名、216名（64.1%）、94名（27.9%）、27名（8.0%）となっており、ほぼ一本調子に中予支部の比重が増大しています。この10年間に会全体で増加した会員数は78名ですが、中予支部の増加数は72名にもなります。また、開業者数でみてもほぼ同じ傾向であり、10年間に開業者数は県会全体で203名から265名に62名増加、内中予支部は115名から165名へと50名も増加しています。これだけ比重が大きくなった中予支部ですから、中予支部に貢献することで県会全体に貢献して参ります。

ところで、数が増えている、しかも急激に増えているということは、登録から比較的年数が経過していない会員の割合が高まっているということです。また、外部環境の変化によって過去の成功事例がそのまま通用しない時代になっているとも言われています。その意味では過去にとらわれない発想が必要な時期が到来しているといえるかもしれません。と同時にこういう時代だからこと、これまで会を支えてこられた諸先輩方の見識、経験の持つ重要性も高まっていると考えます。多くの皆様の意見に耳を傾け、会員の皆様をサポートできる体制を作っていきたいと考えておりますのでご協力よろしくお願い致します。



## 就任のご挨拶

常任理事・南予支部長 鎌 田 勉

私、この度、愛媛県社会保険労務士会南予支部長の職を再度拝命いたしました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

東北大震災からはや2年と数ヶ月が経過いたしました。また、昨年暮れの衆議院選挙では自民党が大勝し安倍新総裁が誕生し、アベノミクスと言う3本の矢が打ち出されたことで、各経済界による格差はありますが、世の中がほんの少しだけ明るい兆しが見えて来た感じがしてきております。

まだ、我々のふるさとの愛媛のような地方への波及は実感として捉えることは残念ながら出来ません。

さて、社会保険労務士の『第8次社労士法の改正』が迫り、労働条件審査についても話が伝わってきております。

このような時期に再び南予支部長を命ぜられました。

今、社労士に求められるものは、それぞれの事業者から労働問題に関する唯一の専門家としての絶対的な信頼を得る必要があります。そのためには、会員一人ひとりが自己研さんに励み労働問題に関するすべての面で地域における事業所に対してアピールして行く必要があります。

支部に於きましては、今後とも各行政機関のご協力を得ながら様々な研修会等を行っていきます。特に今年度から行政機関と連携を密にし情報の交換会等も実施して行きます。県会会員は勿論の事、特に南予支部会員が益々ご活躍ご発展されますよう祈念いたします。

今後、2年間どうぞよろしくお願い回しのほどお願い申し上げます。

## 平成24年度事業報告

(平成24年4月1日から平成25年3月31日)

ギリシャに端を発した信用不安が拡大し、日本でも円高、株安が進み警戒水域を大きく超え景気は後退するばかりでした。県内においても規模の縮小、新規採用を控える企業が続出するなどその影響が広がり厳しい状況が年末まで続きました。

また、一昨年3月に発生した東日本大震災から2年が経過し、徐々に復興に向けた取り組みがなされているようですが、多くの方が故郷に帰れず、仮設住宅住まいを余儀なくされているようです。原発事故の後遺症として汚染土、汚染水と次から次へと問題が発生し、終息にはまだまだ時間がかかりそうな状況です。

平成25年度の第8次社会保険労務士法改正を目指し、司法の場において社会保険労務士の必要性を理解していただくため、社労士会労働紛争解決センター愛媛でも期間限定ではありますが、あっせんの申立費用を無料にし、申立しやすい環境づくりをするなどして対応いたしました。また、総合労働相談所との連携もさらに強化し、事業主、労働者からの相談に今まで以上に丁寧に対応してまいりました。その結果、会員皆様のご協力もあり、短期間で申立受理件数2件という実績をあげることができました。

労働条件審査につきましては、愛媛県庁に指定管理者や入札参加企業に対する労働条件審査を導入するよう提案し、一定のご理解はいただいたところです。

「街角の年金相談センター松山（オフィス）」は、全国の街角の年金相談センター未設置県に設置されたオフィスの中では1ブース当たりの平均相談件数がトップの成績で推移しています。特に松山オフィスは、会員の持ち込み件数が多いのが特徴です。会員の皆様のご協力に心より感謝申しあげます。

連合会が受託した厚生労働省の委託事業「地域社会保障教育推進事業」を全国6地域協議会の7高等学校で実施いたしました。愛媛県がその中の一つに選ばれ、聖カタリナ女子高等学校の協力を得て3年の普通科3クラス、商業科1クラスに2時間の座学、1時間の体験学習ということで、松山オフィスで社会保障制度の現場として見学をしていただきました。このことは、業務監察・広報委員会の積極的なPR活動により多くのマスコミで取り上げていただくことができました。

このほか、「ゆうちょ銀行年金相談事業」「一体的実施事業」「中小企業相談支援事業」等各種事業を実施してまいりました。

以下、平成24年度に実施しました主な事業の概要を報告いたします。

(詳細省略)



## 平成24年度決算報告

## 貸 借 対 照 表

(平成25年 3 月31日現在)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	17,343,540	20,973,839	△ 3,630,299
未 収 金	9,189,048	10,257,842	△ 1,068,794
立 替 金	6,000	0	6,000
流動資産合計	26,538,588	31,231,681	△ 4,693,093
2. 固定資産			
(2) 特定資産			
会館維持積立金	8,440,263	7,438,982	1,001,281
記念事業積立金	3,051,872	2,551,520	500,352
特定資産合計	11,492,135	9,990,502	1,501,633
(3) その他固定資産			
建 物	45,564,488	46,571,438	△ 1,006,950
什器備品	566,654	572,508	△ 5,854
土 地	25,245,000	25,245,000	0
ソフトウェア	292,320	389,760	△ 97,440
その他固定資産合計	71,668,462	72,778,706	△ 1,110,244
固定資産合計	83,160,597	82,769,208	391,389
資産合計	109,699,185	114,000,889	△ 4,301,704
II 負債の部			
1. 流動負債			
未 払 金	1,295,175	1,710,975	△ 415,800
前受会費	360,000	192,000	168,000
預 り 金	481,149	407,639	73,510
流動負債合計	2,136,324	2,310,614	△ 174,290
2. 固定負債			
長期借入金	30,648,000	32,652,000	△ 2,004,000
固定負債合計	30,648,000	32,652,000	△ 2,004,000
負債合計	32,784,324	34,962,614	△ 2,178,290
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	76,914,861	79,038,275	△ 2,123,414
	(11,492,135)	(9,990,502)	(1,501,633)
正味財産合計	76,914,861	79,038,275	△ 2,123,414
負債及び正味財産合計	109,699,185	114,000,889	△ 4,301,704

## 財 産 目 録

(平成25年 3 月31日現在)

(単位：円)

貸借対照表科目				
(流動資産)	現金 預金	手元保管 普通預金 伊予銀行本店  伊予銀行松山駅前  伊予銀行松山駅前  定期預金 伊予銀行松山駅前	運転資金として 一般会計  一般会計  連合会試験事務  一般会計	18,693 8,135,976 377,541  7,758,198  237  9,188,871 9,188,871
	未収金 愛媛労働局	中小企業相談支援事業		9,189,048 9,189,048
	立替金			6,000
流動資産合計				26,538,588
(固定資産)	特定資産	会館維持積立金	普通預金 伊予銀行松山駅前	8,440,263 8,440,263
		記念事業積立金	定期預金 伊予銀行松山駅前	3,051,872 3,051,872
	その他固定資産	建物 什器備品 土地 ソフトウェア		71,668,462 45,564,488 566,654 25,245,000 292,320
固定資産合計				83,160,597
資産合計				109,699,185
(流動負債)	未払金 社労士謝金 前受会費 預り金 所得税 社会保険料 連合会 市県民税	年金事務所謝金		1,295,175 1,295,175 360,000 481,149 192,755 206,394 59,800 22,200
流動負債合計				2,136,324
(固定負債)	長期借入金 SRセンター 伊予銀行			30,648,000 20,000,000 10,648,000
固定負債合計				30,648,000
負債合計				32,784,324
正味財産				76,914,861

## 正味財産増減計算書

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	予算額	当年度(イ)	前年度(ロ)	増減(イ-ロ)
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費	31,436,000	32,064,000	30,737,000	1,327,000
入会金	500,000	1,000,000	905,000	95,000
会員会費	30,936,000	31,064,000	29,832,000	1,232,000
事業収益	53,435,982	52,597,927	56,002,940	△3,405,013
年金事務所受託収入	14,998,725	15,119,658	17,540,901	△2,421,243
一体的実施事業受託収入	21,223,034	19,281,374	18,975,607	305,767
けんぽ協会受託収入	0	0	232,260	△232,260
街角の年金相談センター(オフィス)受託収入	1,800,000	2,526,824	2,438,050	88,774
試験事務受託収入	400,000	403,750	403,705	45
中小企業相談支援事業受託収入	11,470,473	9,189,048	10,011,362	△ 822,314
ゆうちょ銀行受託収入	3,543,750	5,396,745	6,401,055	△1,004,310
65歳雇用確保達成事業受託収入	0	383,258	0	383,258
地域社会保障教育推進事業受託収入	0	297,270	0	297,270
受取負担金	2,803,000	2,293,894	2,477,315	△ 183,421
研修事業負担金	710,000	513,000	411,000	102,000
書物頒布料旋収入	300,000	410,930	554,515	△ 143,585
東予支部事業負担金	735,000	578,000	479,000	99,000
中予支部事業負担金	520,000	445,000	345,000	100,000
南予支部事業負担金	538,000	346,964	687,800	△ 340,836
受取交付金	10,782,000	12,539,831	13,919,329	△1,379,498
連合会等交付金等収入	852,000	1,910,078	3,199,334	△1,289,256
各種団体交付金等収入	9,930,000	10,629,753	10,719,995	△ 90,242
雑収益	25,000	233,890	211,198	22,692
受取利息	5,000	6,228	8,176	△ 1,948
雑収入	20,000	227,662	203,022	24,640
経常収益計	98,481,982	99,729,542	103,347,782	△3,618,240
(2) 経常費用				
1. 連合会支出	6,525,600	6,497,400	6,337,200	160,200
2. 人件費支出	39,728,622	36,661,055	37,577,566	△ 916,511
給料手当	22,690,000	20,039,344	19,685,418	353,926
法定福利費	3,445,724	3,167,020	3,026,147	140,873
中退共掛金	500,000	349,400	474,800	△ 125,400
謝金	13,092,898	13,105,291	14,391,201	△ 1,285,910
3. 事業費支出	73,405,360	58,694,501	60,971,767	△ 2,277,266
研修費	4,930,000	3,312,209	2,224,486	1,087,723
広報宣伝費	3,290,000	2,556,870	3,081,828	△ 524,958
総合労働相談事業費	2,300,000	1,191,265	1,135,741	55,524
労働紛争解決センター費	1,700,000	568,182	1,676,597	△1,108,415
年金相談センター費	500,000	16,000	283,175	△ 267,175

科 目	予算額	当年度(イ)	前年度(ロ)	増減(イ-ロ)
会報発行費	700,000	594,615	569,774	24,841
書物頒布料旋費	280,000	389,184	362,862	26,322
行政等連絡費	300,000	246,718	0	246,718
行政協力等費	14,998,725	15,139,901	17,768,281	△2,628,380
会員厚生費	700,000	306,846	411,529	△ 104,683
名簿発行費	300,000	165,900	165,900	0
表彰費	50,000	30,000	0	30,000
東予支部費	1,578,000	1,211,566	975,089	236,477
中予支部費	3,000,000	2,156,081	2,188,375	△ 32,294
南予支部費	888,000	696,964	1,041,685	△ 344,721
租税公課	6,010,620	4,098,105	2,736,800	1,361,305
総会費	1,500,000	1,084,957	1,231,830	△ 146,873
会議費	3,966,000	2,677,420	2,837,013	△ 159,593
地域協議会費	1,500,000	693,524	1,433,880	△ 740,356
賃借料	900,000	1,179,095	1,136,833	42,262
旅費交通費	756,480	795,113	342,820	452,293
印刷製本費	1,000,000	1,158,472	1,020,165	138,307
通信運搬費	1,200,000	1,267,423	1,207,261	60,162
渉外費	500,000	308,875	448,108	△ 139,233
水道光熱費	700,000	446,911	452,560	△ 5,649
支払利息	746,000	639,001	681,851	△ 42,850
事務局費	6,177,795	3,447,520	4,164,151	△ 716,631
消耗品費	100,000	126,470	81,212	45,258
減価償却費	1,360,000	1,359,829	1,398,909	△ 39,080
合同就職面接会費	7,716,540	7,468,067	7,867,602	△ 399,535
助成金説明会費	751,060	819,549	936,708	△ 117,159
職場見学・職場体験実施費	1,528,120	1,375,299	808,569	566,730
就職支援センター開催費	1,478,020	1,166,570	300,173	866,397
経常費用計	119,659,582	101,852,956	104,886,533	△3,033,577
評価損益等調整前当期経常増減額	△21,177,600	△2,123,414	△1,538,751	△ 584,663
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	△21,177,600	△2,123,414	△1,538,751	△584,663
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△21,177,600	△2,123,414	△1,538,751	△ 584,663
一般正味財産期首残高	79,038,275	79,038,275	80,577,026	△1,538,751
一般正味財産期末残高	57,860,675	76,914,861	79,038,275	△2,123,414
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額		0	0	0
指定正味財産期首残高		0	0	0
指定正味財産期末残高		0	0	0
III 正味財産期末残高	57,860,675	76,914,861	79,038,275	△2,123,414

## 正味財産増減計算書内訳表

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	一般会計	ゆうちよ 年金相談	一体的 実施事業	中小企業 相談支援事業	街角の年金 相談センター (オフィス)	65歳雇用 確保達成 事業	地域社会 保障教育 推進事業	合 計
I 一般正味財産増減の部								
1. 事業活動収支の部								
(1) 事業活動収入								
会費収入	32,064,000	0	0	0	0	0	0	32,064,000
入会金	1,000,000	0	0	0	0	0	0	1,000,000
会員会費	31,064,000	0	0	0	0	0	0	31,064,000
事業収入	15,523,408	5,396,745	19,281,374	9,189,048	2,526,824	383,258	297,270	52,597,927
年金事務所受託収入	15,119,658	0	0	0	0	0	0	15,119,658
一体的実施事業受託収入	0	0	19,281,374	0	0	0	0	19,281,374
街角の年金相談センター(オフィス)受託収入	0	0	0	0	2,526,824	0	0	2,526,824
試験事務受託収入	403,750	0	0	0	0	0	0	403,750
中小企業相談支援事業受託収入	0	0	0	9,189,048	0	0	0	9,189,048
ゆうちよ銀行受託収入	0	5,396,745	0	0	0	0	0	5,396,745
65歳雇用確保達成事業受託収入	0	0	0	0	0	383,258	0	383,258
地域社会保障教育推進事業受託収入	0	0	0	0	0	0	297,270	297,270
負担金収入	2,293,894	0	0	0	0	0	0	2,293,894
研修事業負担金	513,000	0	0	0	0	0	0	513,000
書物頒布料収入	410,930	0	0	0	0	0	0	410,930
東予支部事業負担金	578,000	0	0	0	0	0	0	578,000
中予支部事業負担金	445,000	0	0	0	0	0	0	445,000
南予支部事業負担金	346,964	0	0	0	0	0	0	346,964
交付金収入	12,539,831	0	0	0	0	0	0	12,539,831
連合会等交付金等収入	1,910,078	0	0	0	0	0	0	1,910,078
各種団体交付金等収入	10,629,753	0	0	0	0	0	0	10,629,753
雑収益	233,717	173	0	0	0	0	0	233,890
受取利息	6,055	173	0	0	0	0	0	6,228
雑収入	227,662	0	0	0	0	0	0	227,662
経常収益計	62,654,850	5,396,918	19,281,374	9,189,048	2,526,824	383,258	297,270	99,729,542
(2) 事業活動支出								
1. 連合会支出	6,497,400	0	0	0	0	0	0	6,497,400
2. 人件費支出	14,337,514	4,934,625	7,445,650	8,694,000	815,600	213,666	220,000	36,661,055
給料手当	11,776,744	1,440,000	6,490,000	0	185,600	147,000	0	20,039,344
法定福利費	2,211,370	0	955,650	0	0	0	0	3,167,020
中退共掛金	349,400	0	0	0	0	0	0	349,400
謝金	0	3,494,625	0	8,694,000	630,000	66,666	220,000	13,105,291
3. 事業費支出	43,943,350	462,293	11,835,724	495,048	1,711,224	169,592	77,270	58,694,501
研修費	2,868,456	0	0	123,805	222,350	97,598	0	3,312,209
広報宣伝費	1,270,095	0	147,000	89,775	1,050,000	0	0	2,556,870
総合労働相談事業費	1,191,265	0	0	0	0	0	0	1,191,265
労働紛争解決センター費	568,182	0	0	0	0	0	0	568,182
年金相談センター費	16,000	0	0	0	0	0	0	16,000
会報発行費	594,615	0	0	0	0	0	0	594,615
書物頒布料経費	364,874	0	0	0	24,310	0	0	389,184
行政等連絡費	246,718	0	0	0	0	0	0	246,718
行政協力等費	15,139,901	0	0	0	0	0	0	15,139,901

科 目	一般会計	ゆうちよ 年金相談	一体的 実施事業	中小企業 相談支援事業	街角の年金 相談センター (オフィス)	65歳雇用 確保達成 事業	地域社会 保障教育 推進事業	合 計
会員厚生費	306,846	0	0	0	0	0	0	306,846
名簿発行費	165,900	0	0	0	0	0	0	165,900
表彰費	30,000	0	0	0	0	0	0	30,000
東予支部費	1,211,566	0	0	0	0	0	0	1,211,566
中予支部費	2,156,081	0	0	0	0	0	0	2,156,081
南予支部費	696,964	0	0	0	0	0	0	696,964
租税公課	4,098,105	0	0	0	0	0	0	4,098,105
総会費	1,084,957	0	0	0	0	0	0	1,084,957
会議費	2,477,820	0	0	0	199,600	0	0	2,677,420
地域協議会費	693,524	0	0	0	0	0	0	693,524
賃借料	882,403	0	296,692	0	0	0	0	1,179,095
旅費交通費	337,970	0	78,343	218,520	160,280	0	0	795,113
印刷製本費	945,920	0	198,902	0	0	13,650	0	1,158,472
通信運搬費	1,127,611	0	108,292	0	1,100	29,070	1,350	1,267,423
渉外費	308,875	0	0	0	0	0	0	308,875
水道光熱費	446,911	0	0	0	0	0	0	446,911
支払利息	639,001	0	0	0	0	0	0	639,001
事務局費	2,712,961	462,293	87,624	62,948	43,920	2,625	75,149	3,447,520
消耗品費	0	0	89,386	0	9,664	26,649	771	126,470
減価償却費	1,359,829	0	0	0	0	0	0	1,359,829
合同就職面接会費	0	0	7,468,067	0	0	0	0	7,468,067
助成金説明会費	0	0	819,549	0	0	0	0	819,549
職場見学・職場体験実施費	0	0	1,375,299	0	0	0	0	1,375,299
就職支援セミナー開催費	0	0	1,166,570	0	0	0	0	1,166,570
経常費用計	64,778,264	5,396,918	9,281,374	9,189,048	2,526,824	383,258	297,270	101,852,956
当期経常増減額	△2,123,414	0	0	0	0	0	0	△2,123,414
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△2,123,414	0	0	0	0	0	0	△2,123,414
一般正味財産期首残高	79,038,275	0	0	0	0	0	0	79,038,275
一般正味財産期末残高	76,914,861	0	0	0	0	0	0	76,914,861
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	76,914,861	0	0	0	0	0	0	76,914,861



## 平成25年度事業計画(案)

(平成25年4月1日から平成26年3月31日)

昨年12月に行われた衆議院議員総選挙後、安倍総理のかかげるアベノミクスによる大規模な経済政策が打ち出され、経済再生に向けた期待感から、円安、株高が進み明るい兆しが見えはじめたところであります。

今年度は、司法制度改革審議会の報告がなされて5年目の実績をみる年にあたり、全国社会保険労務士会連合会では、平成25年度の国会において第8次社労士法改正の実現を目指し、具体的検討に入りました。

愛媛県社会保険労務士会でも、社労士会労働紛争解決センター愛媛の利用促進を図って、実績を積み上げるとともに、政治連盟、連合会との連携を密にし、第8次社労士法改正の実現に向けて最優先で取り組んでまいります。

本年が、社労士法施行45周年に当たるため、45周年記念事業として講演会を開催し、内外に社労士制度の一層の周知を図ります。

また、新入会員研修、必須研修、安全管理研修、職業倫理の研修を実施するなど、会員の資質向上を目指してまいります。

以上のことを踏まえ、次の事項を重点に今年度の事業計画として進めてまいります。

### 1 第8次法改正への対応

- ① 個別労働紛争について簡易裁判所における民事調停の代理権の獲得
- ② 裁判所（非訟事件を含む）において弁護士の補佐人としての出廷陳述権の獲得
- ③ 社労士会労働紛争解決センターにおける60万円枠の撤廃
- ④ 一人法人制度及び指定社員制度の創設
- ⑤ 社労士証票の更新制度の創設

以上5項目の実現に向かって、政治連盟及び連合会と連携して取り組んでいきます。

### 2 社会保険労務士業務の拡充に関する事業

労働条件審査については、連合会との連携を図り、地方自治体に指定管理者や入札参加企業に対する労働条件審査を導入するよう提案していき、労働条件審査が社会保険労務士の業務として受託につながるよう取り組みます。

「街角の年金相談センター松山（オフィス）」は、契約の最終年度に入りました。来年度の入札に向けて相談件数を増やすことはもとより、相談員の研修、会員に対する年金マスター研修の受講者を増やし、年金イコール社労士を確立してまいります。

成年後見制度への参入のため、成年後見人養成のための研修部会を立ち上げ早期に研修を実施し、家裁への登録を目指すとともに、「一般社団法人〇〇社労士成年後見センター（仮称）」の設立を目指します。

## 平成25年度収入支出予算（案）

## 収 支 予 算 書（案）

（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）

一般会計  
（単位：円）

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
会費収入	32,046,000	31,436,000	610,000
入会金	750,000	500,000	250,000
会員会費	31,296,000	30,936,000	360,000
事業収入	21,659,000	15,398,725	6,260,275
年金事務所受託収入	21,259,000	14,998,725	6,260,275
試験事務受託収入	400,000	400,000	0
負担金収入	2,484,000	2,803,000	△ 319,000
研修事業負担金	510,000	710,000	△ 200,000
書物頒布幹旋収入	500,000	300,000	200,000
東予支部事業負担金	646,000	735,000	△ 89,000
中予支部事業負担金	290,000	520,000	△ 230,000
南予支部事業負担金	538,000	538,000	0
交付金収入	12,551,000	10,782,000	1,769,000
連合会等交付金等収入	1,921,000	852,000	1,069,000
各種団体交付金等収入	10,630,000	9,930,000	700,000
繰入金収入	1,500,000	0	1,500,000
記念事業積立金繰入金	1,500,000	0	1,500,000
雑収入	155,000	25,000	130,000
受取利息	5,000	5,000	0
雑収入	150,000	20,000	130,000
事業活動収入計	70,395,000	60,444,725	9,950,275
2. 事業活動支出			
連合会支出	6,546,000	6,525,600	20,400
人件費支出	18,800,000	19,000,000	△ 200,000
給料手当	15,100,000	15,500,000	△ 400,000
法定福利費	3,300,000	3,000,000	300,000
中退共掛金	400,000	500,000	△ 100,000
事業費支出	57,099,000	54,736,725	2,362,275
研修費	3,950,000	5,430,000	△ 1,480,000
広報宣伝費	1,900,000	2,850,000	△ 950,000
総合労働相談事業費	1,928,000	2,300,000	△ 372,000
労働紛争解決センター費	1,345,000	1,700,000	△ 355,000
労働条件審査費	400,000	0	400,000
成年後見制度事業費	500,000	0	500,000
45周年記念事業費	1,500,000	0	1,500,000
会報発行費	800,000	700,000	100,000
書物頒布幹旋費	450,000	280,000	170,000
行政等連絡費	300,000	300,000	0

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
行政協力等費	21,259,000	14,998,725	6,260,275
会員厚生費	500,000	700,000	△ 200,000
名簿発行費	300,000	300,000	0
会則等整備費	300,000	0	300,000
表彰費	50,000	50,000	0
東予支部費	1,502,000	1,578,000	△ 76,000
中予支部費	2,500,000	3,000,000	△ 500,000
南予支部費	888,000	888,000	0
租税公課	2,500,000	5,000,000	△ 2,500,000
総会費	1,300,000	1,500,000	△ 200,000
会議費	3,227,000	3,716,000	△ 489,000
地域協議会費	2,200,000	1,500,000	700,000
賃借料	800,000	900,000	△ 100,000
旅費交通費	500,000	500,000	0
印刷製本費	800,000	1,000,000	△ 200,000
通信運搬費	1,200,000	1,200,000	0
渉外費	500,000	500,000	0
水道光熱費	600,000	700,000	△ 100,000
支払利息	600,000	746,000	△ 146,000
事務局費	2,500,000	2,400,000	100,000
予備費	2,500,000	4,399,467	△ 1,899,467
事業活動支出計	84,945,000	84,661,792	283,208
事業活動収支差額	△14,550,000	△24,217,067	9,667,067
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
特定資産取得支出	1,500,000	1,500,000	0
会館維持積立金	1,000,000	1,000,000	0
記念事業積立金	500,000	500,000	0
固定資産取得支出	500,000	1,200,000	△ 700,000
什器備品	500,000	1,200,000	△ 700,000
投資活動支出計	2,000,000	2,700,000	△ 700,000
投資活動収支差額	△ 2,000,000	△ 2,700,000	700,000
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
借入金返済支出	2,004,000	2,004,000	0
財務活動支出計	2,004,000	2,004,000	0
財務活動収支差額	△ 2,004,000	△ 2,004,000	0
当期収支差額	△18,554,000	△28,921,067	10,367,067
前期繰越収支差額	24,402,264	28,921,067	△ 4,518,803
次期繰越収支差額	5,848,264	0	5,848,264

## 収支予算書（案）

（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）

特別会計  
（単位：円）

科 目	ゆうちよ 年金相談	中小企業 相談支援事業	街角の年金 相談センター （オフィス）	合 計
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
事業収入	3,859,000	9,169,000	2,500,000	15,528,000
街角の年金相談センター（松山オフィス）受託収入	0	0	2,500,000	2,500,000
中小企業相談支援事業受託収入	0	9,169,000	0	9,169,000
ゆうちよ銀行受託収入	3,859,000	0	0	3,859,000
事業活動収入計	3,859,000	9,169,000	2,500,000	15,528,000
2. 事業活動支出				
人件費支出	3,404,000	6,816,600	830,000	11,050,600
給料手当	1,440,000	0	200,000	1,640,000
法定福利費	0	0	0	0
謝金	1,964,000	6,816,600	630,000	9,410,600
事業費支出	455,000	2,352,400	1,670,000	4,477,400
研修費	0	0	350,000	350,000
広報宣伝費	0	288,750	650,000	938,750
セミナー開催費	0	703,500	0	703,500
会議費	0	0	250,000	250,000
旅費交通費	0	527,100	200,000	727,100
事務局費	455,000	833,050	150,000	1,438,050
消耗品費	0	0	70,000	70,000
事業活動支出計	3,859,000	9,169,000	2,500,000	15,528,000
事業活動収支差額	0	0	0	0
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	0
2. 投資活動支出				
投資活動支出計	0	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0	0
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	0
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0	0
当期収支差額	0	0	0	0
前期繰越収支差額	0	0	0	0
次期繰越収支差額	0	0	0	0

～退職金の悩み中退共で解決しませんか～

**事業主さん**

**国がバックアップする  
退職金制度があること、  
ご存知ですか？**


それが、

## 中小企業退職金共済制度

- 1. 国の制度だから安心**  
しかも掛金の一部を国が助成します。  
まず、特長はこの3つ
- 2. 社外積立でラクラク管理**  
社外積立なので手間がかりません。
- 3. 掛金は全額非課税で有利**  
手数料もかかりません。

さらに


**パートタイマーさんや  
家族従業員も加入できます。**



詳しくは  
ホームページで

中退共    検索

お問合せもお気軽に



**中退共**  
CHU-TO-KYO

（独）勤労者退職金共済機構 中小企業退職金共済事業本部

TEL (03)6907-1234 FAX (03)5955-8211



**理事会だより****〔正副会長会〕**

※平成25年 4 月24日(水) 県会事務局会議室において、正副会長会を開催した。

## 議 題

- 1 平成25年度通常総会の議案書について
- 2 その他

**〔常任理事会〕**

※平成25年 4 月24日(水) 県会事務局会議室において、第69回常任理事会を開催した。

## 議 題

- 1 平成25年度通常総会の議案書について
- 2 その他  
・各委員会・支部の引継書について

**〔理事会〕**

※平成25年 5 月 8 日(水) 県会事務局会議室において、第211回理事会を開催した。

## 議 題

- 1 平成25年度通常総会の議案書について
- 2 平成25年度通常総会の役割分担について
- 3 各常務委員会及び各支部の報告
- 4 その他  
・第63回社会を明るくする運動～愛媛県推進委員会委員就任等について

※平成25年 6 月12日(水) 松山全日空ホテル南館 3 階トパーズにおいて、第212回理事会を開催した。

## 議 題

- 1 議長の選任について
- 2 会長の選任について
- 3 会長推薦理事候補者の選任について

※平成25年 6 月12日(水) 松山全日空ホテル南館 3 階トパーズにおいて、第213回理事会を開催した。

## 議 題

- 1 副会長、常任理事の選任について
- 2 その他  
・次回理事会の日程について

※平成25年 6 月18日(火) 県会事務局会議室において、第214回理事会を開催した。

## 議 題

- 1 支部関係について
- 2 常務委員会関係について
- 3 綱紀委員会関係について
- 4 総合労働相談所関係について
- 5 ADR関係について
- 6 SR関係について
- 7 45周年記念事業関係について
- 8 その他

**委員会だより****〔財務委員会〕**

※平成25年 4 月19日(金) 県会事務局会議室において、開催した。

## 議 題

- 1 平成24年度決算について
- 2 平成25年度予算案について
- 3 その他

**〔業務監察・広報委員会〕**

※平成25年 4 月11日(木) 県会事務局会議室において、開催した。

## 議 題

- 1 年度更新・算定基礎届の広報について
- 2 その他

**支部だより****〔東予支部〕**

※平成25年 4 月17日(水) 東予支部会を開催した。

場 所 西条国際ホテル (西条市)

## 内 容

- 1 県会理事、会計監事候補者の推薦について
- 2 その他

※平成25年 5 月24日(金) 東予支部社会保険研修会（新居浜）を開催した。

場 所 レーイグラッツェふじ（旧ふじ結婚式場）

内 容

- 1 健康保険・厚生年金報酬月額算定基礎届等の改正点および留意点について
- 2 各種助成金について
- 3 被扶養者の確認について
- 4 老齢年金について

※平成25年 5 月31日(金) 東予支部社会保険研修会（今治）を開催した。

場 所 ケーオーホテル

内 容

- 1 算定基礎の留意点及び連絡事項
- 2 被扶養者の確認等について
- 3 各種助成金について

#### 〔中予支部〕

※平成25年 4 月16日(火) 中予支部役員会を開催した。

場 所 県会事務局会議室

内 容

- 1 支部推薦役員候補者決定
- 2 中予支部会について
- 3 連絡事項・その他

※平成25年 4 月26日(金) 中予支部役員会を開催した。

場 所 県会事務局会議室

内 容

- 1 支部推薦役員候補者決定
- 2 連絡事項・その他

※平成25年 5 月30日(木) 中予支部会・研修会を開催した。

場 所 東京第一ホテル松山

支部会

内 容

- 1 平成24年度事業報告・支部事業費内訳報告
- 2 平成25年度事業計画（案）・支部事業費予算内訳（案）
- 3 中予支部推薦理事・監事候補について
- 4 新人紹介・連絡事項

研修会

内 容

- 1 助成金について
- 2 高齢者・障害者関係助成金について
- 3 事務手続きの留意点
- 4 算定基礎届の事務説明
- 5 被扶養者の再確認について等

#### 〔南予支部〕

※平成25年 4 月26日(金) 南予支部会を開催した。

場 所 ハーバープラザホテル（八幡浜市）

内 容

- 1 平成24年度事業報告並びに決算報告承認の件
- 2 平成25年度事業計画並びに予算案審議の件
- 3 役員改選（理事及び監事候補推薦の件）
- 4 その他

※平成25年 6 月 5 日(水) 社会保険関係等研修会を開催した。

場 所 南予文化会館 会議室

内 容

- 1 算定基礎届について
- 2 被扶養者資格再確認業務について
- 3 高齢・障害関係助成金について

## 地域産業保健センターを御利用下さい

厚生労働省愛媛労働局

地域産業保健センターでは、労働者数 50 人未満の小規模事業場の事業者や小規模事業場で働く人を対象として、労働安全衛生法で定められた保健指導などの産業保健サービスを無料で提供します。

## (サービス内容)

(1) 医師からの意見聴取	労働安全衛生法に定められている健康診断結果に基づき、異常の所見があった労働者に対して、その健康を保持するために必要な措置について医師から意見を聴くことができます。
(2) 有所見者の保健指導	労働安全衛生法に定められている健康診断の結果、「血中脂質検査」「血圧の検査」「血糖検査」「尿中の糖の検査」「心電図検査」の項目に異常の所見があった労働者に対し、医師又は保健師が日常生活での指導や健康管理に関する情報の提供などを行います。
(3) メンタルヘルスの相談・指導	メンタルヘルス不調を感じている労働者に対し、医師又は保健師による相談・指導を行います。
(4) 長時間労働者への面接指導	時間外労働が長時間に及ぶ労働者に対し、疲労の蓄積状況の確認など医師による面接指導を行います。

すべてのサービスは各地域産業保健センターに利用の申し込みをすることにより、原則として無料で受けることができますので、お近くの地域産業保健センター又は愛媛労働局にお問い合わせ下さい。

## ○お問合せ先

愛媛労働局健康安全課	松山市若草町 4-3 松山若草合同庁舎 電話：089-935-5204 FAX：089-935-5247
愛媛県地域産業保健センター	松山市千舟町 4-5-4 (松山千舟 454 ビル 2 階) TEL：080-5952-8513 FAX：089-915-1922 ホームページ：http://ehime-sanpo.jp/



## 新 入 会 員 紹 介



【氏 名】  
おがきわら ひろ と  
小笠原 浩 人  
【支 部】  
東 予  
【年齢・血液型】  
45歳 A型  
【開業／勤務／その他】  
開業

- ① 社会保険労務士となった動機  
企業の中で経営者側と対等に接するには、労働法の知識が必要だと思ったことが初めの動機ですが、勉強をしていくにつれ、一般の人にとって身近ではあるが意外と知られていない法律や制度が多いということに気づき、企業や行政と一般の方との橋渡しの仕事がしたいと思い、社会保険労務士になりました。
- ② 自己紹介  
平成25年 4 月 2 日に今治市で開業いたしました。これといった特技や経歴はありませんが、粘り強くものごとを進めていくことに関しては自信があります。仕事でも最後まであきらめずに頑張りたいと思います。趣味は読書とラーメンの食べ歩きですが、今後は、体力維持と健康のためダイエットにも励みます。
- ③ 今後の抱負  
障害のある方や、高齢の方、虐げられた労働者の方々が、社会の中で少しでも生きやすいようにサポートしていけたらと思っています。
- ④ 会への意見・要望  
社会保険労務士は、社会保険の専門家であり、高齢者や障害者の方々ともつながりが深いと思いますので成年後見制度には最適だと思います。今後は、成年後見制度にも力を入れていただき、研修等も開いていただけたらと思います。これからも、よろしくお願いいたします。



【氏 名】  
こも だ あつ こ  
薦 田 敦 子  
【支 部】  
中 予  
【年齢・血液型】  
51歳 B型  
【開業／勤務／その他】  
勤務

- ① 社会保険労務士となった動機  
社会保険の基本となる考え方を学びたかったので勉強しました。
- ② 自己紹介  
出身は和歌山県で、縁あって松山にいます。子育て中心に生活しておりましたので、社会経験が少なく、解らない事だらけですが、コツコツ積み重ねていくタイプなので、少しずつでも前進して行きたいと思っています。
- ③ 今後の抱負  
試験に受かったものの社会保険労務士の業務は、奥が深いと改めて実感しております。諸先生方に少しでも近づける様にがんばって行きたいと思っています。
- ④ 会への意見・要望  
新人研修会など、積極的に参加させて頂きたいと思ってますので、今後共よろしく願い致します。



【氏 名】  
ふじ わら とおる  
藤 原 徹  
【支 部】  
東 予  
【年齢・血液型】  
59歳 O型  
【開業／勤務／その他】  
開業

- ① 社会保険労務士となった動機  
まだ、社会保険労務士の登録まで出来ただけで、「社会保険労務士になれた」とは思っていないですが、「社会保険労務士を目指した」動機は、なんとなく、「おもしろそうだなあ」と、思ったからです。
- ② 自己紹介  
私は、兼業として、米屋をしています。社会保険労務士としても、世間との接点を多くして、世の中を広げていけたらと思っています。私の長所は、「諦めずに、継続する」こと、短所は、「易きに流れる」こと、としておきます。
- ③ 今後の抱負  
社会保険労務士になるために、手探りの状態ですが、焦らずに、勉強と経験を積んでいきりないのかなと思います。会の研修には、積極的に、参加していこうと思っています。
- ④ 会への意見・要望  
会に、どんな研修があるのか、知りませんが、会の重要な役割として、会員の資質向上を図ることがあると思います。研修体制と研修内容の一層の充実を期待、要望します。



【氏 名】  
やま なか ち づる  
山 中 千 鶴  
【支 部】  
南 予  
【年齢・血液型】  
50歳 A型  
【開業／勤務／その他】  
開業

- ① 社会保険労務士となった動機  
長年、事務職に携わってまいりましたが、わからない、知らないという事もありました。また社労士先生との出会いもあり、勉強するきっかけを与えていただきました。
- ② 自己紹介  
はじめまして。このたび入会致しました、山中千鶴と申します。入会できたことを本当に嬉しく思っています。右も左もわからない状態ですが、頑張りますので、ご指導のほどよろしくお願い致します。
- ③ 今後の抱負  
社会保険労務士という大きな舞台に立ったばかりで、不安で一杯ですが、さらに勉強してスキルアップを目指していきたいと思っています。

## 第 149 回 社労士親睦コンペ

平成 25 年 3 月 7 日(木)  
チサンカントリークラブ北条

順位	氏 名	支部
優勝	横本 恭弘	中予
2 位	佐伯 広政	東予
3 位	向井 英壽	中予

## 第 150 回 社労士親睦コンペ

平成 25 年 5 月 9 日(木)  
サンセットヒルズカントリークラブ

順位	氏 名	支部
優勝	古川 舞子	中予
2 位	三好 秀子	中予
3 位	大本 和彰	中予

## 第 151 回 社労士親睦コンペ

平成 25 年 7 月 11 日(木)  
北条カントリー倶楽部

順位	氏 名	支部	グロス	ハンディ	ネット
優勝	中井 康策	中予	93	41	52
2 位	林 征三	中予	106	41	65
3 位	正岡 朝樹	東予	104	36	68



※ 同ネットの場合ハンデ順

次回開催日	平成25年9月12日(木) (予定)
申 込 先	事務局 089-907-4864

## 第 6 回 愛媛・香川交流コンペ

平成 25 年 4 月 16 日  
(香川県三豊市) エリエールゴルフクラブ

順位	氏 名	支部	グロス	ハンディ	ネット
優勝	古川 舞子	中予	99	27.6	71.4
2 位	松浦 僚	中予	83	10.8	72.2
3 位	佐藤 和之	香川会	107	32.4	74.6

※ 同ネットの場合ハンデ順  
参加人数 16 名



### 若者の採用・育成に積極的な中小企業の皆様へ 「若者応援企業宣言」しませんか？

若者（35 才未満）のための求人を提出し、一定の労務管理の体制が整備され、一定の宣言基準を満たしている企業を「若者応援企業」として、ハローワークが積極的に PR 等を行っています。

「若者応援企業宣言」をすると、若者の職場定着が期待できるとともに、労働局のホームページで公表しますので、企業の魅力をアピールすることもできます。この機会に、ぜひ「若者応援企業宣言」をしてみませんか。

ご相談・詳細については、最寄りのハローワークまたは愛媛労働局職業安定課（089-943-5221）にお問い合わせください。

一定の労務管理体制

積極的に若者（35 歳未満）を採用・育成

詳細な企業情報・採用情報を公開

若者応援  
企業宣言

ハローワークが  
積極的に  
御社を PR!!

## 社 会 保 険 労 務 士 倫 理 綱 領

社会保険労務士は、品位を保持し、常に人格の陶冶にはげみ、旺盛なる責任感をもって誠実に職務を行い、もって名誉と信用の高揚につとめなければならない。

### 社会保険労務士の義務と責任

#### 1. 品位の保持

社会保険労務士は、品位を保持し、信用を重んじ、中立公正を旨とし、良心と強い責任感のもとに誠実に職務を遂行しなければならない。

#### 2. 知識の涵養

社会保険労務士は、公共的使命と職責の重要性を自覚し、常に専門知識を涵養し理論と実務に精通しなければならない。

#### 3. 信頼の高揚

社会保険労務士は、義務と責任を明確にして契約を誠実に履行し、依頼者の信頼に応えなければならない。

#### 4. 相互の信義

社会保険労務士は、相互にその立場を尊重し、積極的に知識、技能、情報の交流を図り、いやしくも信義にもとる行為をしてはならない。

#### 5. 守秘の義務

社会保険労務士は、職務上知り得た秘密を他に漏らし又は盗用してはならない。業を廃した後の守秘の責任をもたなければならない。

### 会 員 数 一 覧 表

〈個人会員〉

平成25年7月1日現在

	東予支部	中予支部	南予支部	合 計
開 業	75	154	24	253
法 人 の 社 員	2	13	0	15
勤 務	12	28	3	43
そ の 他	5	21	1	27
合 計	94	216	28	338

〈法人会員数〉

区 分	東予支部	中予支部	南予支部	合 計
法 人 会 員	1	5	0	6
合 計	1	5	0	6

## お 知 ら せ

### ＜社労士法施行45周年記念講演会＞

日 時 平成25年10月21日(月)  
場 所 東京第一ホテル松山  
松山市南堀端町6-16

### ＜45周年記念事業ボウリング大会＞

日 時 平成25年10月19日(土)  
場 所 キスケボウル  
松山市宮田町4

詳細は後日、お知らせいたします。

## 編 集 後 記

今年の夏は本当に暑いですね。と言い続けてここ数年。地球温暖化は進んでいるのでしょうか。

先日土用の丑の日に久しぶりに鰻をいただきました。ここ数年稚魚がめっきり少なくなり、値段が高騰しているということですが、やはり暑いこの時期なぜか鰻をいただくと元気になる気がするのは私だけでしょうか。ふっくらと美味しい鰻を頂くだけで元気になり頑張れる私は単純ですね。とにかく、今年の夏も美味しい物をしっかりといただき、十分に休養し、元気に過ごしましょう。

(U)

発行所 愛媛県社会保険労務士会  
〒790-0813  
愛媛県松山市萱町4丁目6番地3  
電 話 (089) 907-4864  
ファクシミリ (089) 923-1133  
銀行口座 伊予銀行松山駅前支店  
普通預金 1941628

U R L <http://www.ehime-sr.or.jp>

E-mail [ehime4@ehime-sr.or.jp](mailto:ehime4@ehime-sr.or.jp)

発行人 横 本 恭 弘

編集人 総 務 委 員 会

印刷所 松山市空港通2丁目13番30号  
不二印刷株式会社